



♪春よ来い…

インフルエンザにご注意!

1月中旬より、インフルエンザが流行しています。Yurinetで各クラスの状況をお伝えしていますが、学級閉鎖のクラスもあり、まだ流行が続くものと思われます。特に今年は次の2種類のインフルエンザが流行しています。

- AH1pdm09型…72.3%
- AH3型…27.7%

(引用：東京都福祉保険局 1/17通信)
 一度罹患した方もまた罹患するケースがありますので、ご家庭でも体調管理にご協力をお願い致します。

正月遊び

園庭では正月遊びを楽しんでいます。凧揚げ、こままわし、羽根つき、けん玉、竹とんぼ、だるま落とし、福笑い…日本の昔遊びは単純ですが実に奥深いですね。色々な正月遊びを手にして一通り遊び、その中から気に入った遊びに夢中になります。初めはうまくできなくても、年長のお兄さんお姉さんを真似したり、教えてもらったり、失敗を繰り返しながらも先生から励まされ、何度も挑戦し、少しずつですが、着実に上達していく様子がみられます。



この「難しいことにも挑戦し、粘り強く取り組もうとしたり、友だちと協力してやり遂げようとする力」の事を「**社会情動的スキル**」や「**非認知能力**」と呼びます。知的能力とは違いますが、むしろその基礎となるとても大事な力で、幼児期に最も身につく、大人になってからでは身につくのが難しい「**脳の働き**」です。この力が幼児期に身につくかどうかで将来に大きな差を生むと言われていています。これを育むためには次の2つのことが大切と言われています。



「**それがやりたいこと**」であること…子どもはやりたいと思うことには粘り強く、また継続的に取り組み学びの効果も高いと言われています。(内発的動機づけ)

「**頑張ってきた**」を積み重ねていくこと…飽きたり、嫌になったり、疲れしたりしたときに「あとちょっと頑張ろう」と自分を奮い立たせる力は幼児期から働いています。この気持ちを支えるのは、友だちの応援や、保育者、保護者の見守りです。この応援や見守りの中、「**頑張ってきた!**」という「**小さな成功体験**」の積み重ねが子どもの記憶に残り、自信となり、生涯出会う未知の出来事にも勇気を持って立ち向かい、困難にも打ち勝っていけるようになっていきます。

幼稚園では、1人1人が「**やりたいこと**」を見つけ「**頑張ってきた!**」が増えていけるよう、見守っていきたく思います。

(参考文献：幼稚園教育要領ハトブック 2017年告示版)



今、マスコミでも「日本の教育が変わる」とか「2020年の教育改革」というフレーズを耳にします。これまでもお伝えしてきましたが、現在、幼稚園から大学入試に至るまでの指導要領の改訂が行われています。そして、この改訂のスタートは幼稚園で、既に本年度より施行されています。つまり、子ども達はまさに「新しい時代の教育」を受けているということです。Yurikagoが現在の環境に移転したのも、この大きな教育改革の流れの中、新しい時代の幼児教育に必要な要素が、この環境には十分にあると感じたからです。

もちつき会

日本の伝統行事でもある「もちつき」。今年も幼稚園では昔から伝わる方法で、もちつきを行いました。お正月にお餅を食べることは普段食べないものを食べることで、気持ちを切り替えるという意味があるそうです。また神様にお供えした野菜や餅をお雑煮にしてたべることで、「神様からパワーをいただく」という意味もあるそうです。幼稚園では無事に年を越せたことに感謝し、また素敵な1年になることを祈念してお餅つきを行いました。



大豆を石臼で挽いてきな粉に。ふるいでより細かく。辛味餅用の巨大大根収穫!



男の先生、担任の先生、子ども達、、、みんなで作りました! 美味しかったね!

年長 どんど焼き~自由保育参観

年長さんの書き初めやご家庭のお正月飾り、幼稚園の門松などをどんど焼きで燃やしました。森の広場のファイヤースペースにお炊き上げ用に組み、点火! 火が高く上がった後は弱まるのを待ち、お餅を篠竹に刺して火に炙って頂きました。参観でお越し頂いた保護者の方にも召し上がっていただきました!

どんど焼きには様々な意味があるとされています。歳神様が煙に乗って天に帰れますように、字をうまく書けますように、そして何よりも健康に暮らせますように。ご参観頂いた保護者の皆さま、有り難うございました。



年長 ドッジボール大会～自由保育参観

参観では、どんど焼きに続きドッジボール大会が行われ、園児の試合の後には、お母さま方の迫力あるドッジボールの試合も行われました。2月に予定されているみなみ野君田小学校での「みなみ野地域ドッジボール大会」に向けても、とても良い機会となりました。



年長 ハーブ王子と、、、「七草探し&七草粥」

野草研究家の「ハーブ王子」(山下智道さん)にお越し頂き、年長さんと園内を歩き、春の七草をはじめ沢山の野草を採って七草粥をいただきました！子ども達は目を輝かせ、「ハーブ王子、これ何？これは食べられる？」と次々に質問し、野草摘みを満喫しました！日頃見過ごしていた園内のたくさんの野草にも気づかされ、厳寒の大地に生える「小さな命」の逞しさに感動しました！採った野草は、七草のわらべ唄「七草なずな」をみんなで歌いながら、お当番さんがリズムに合わせて、包丁で刻みました。そしてご飯と一緒に釜戸で炊き、春の香りがいっぱいの「七草粥」を、ハーブ王子と一緒にいただきました！



きっかけは？…フジテレビの「この山、ぜんぶ食べちゃいました！」という番組を見ていた園長が、王子の豊かな知識に感動し、職員研修で園にお越し頂いたことがきっかけです。王子は、ただ知識があるだけでなく、日本に昔から伝わる「野草を生活に取り入れる」文化を、食事や芸術、アロマや日々の生活用具に至るまで様々な切り口で教えて頂けます。子どもたちが植物との関わりを通し、生活や遊びをより豊かにしていけるよう、今後、季節に応じ定期的にお越し頂きたいと思っています。お母様向けのワークショップも企画していきます！！

年少 植物との関わり

年少さんは園庭の様々な場所で、冬の植物と仲良くなっています。



1年間観察している「クラスの木」 棚田では小麦の生長を観察したり「麦踏み」をしたり



クラスガーデンではチューリップの芽や菜の花の生長観察

1月のいろいろ



年長さんの書き初め



年長サッカークラブはフットサル大会で勝ち進んでいます！2/2に準決勝です！



水の魅力！ ガラスみたい！

水道の下では水滴が落ち、一晩経つとこんなに！「オラフだよ」日陰では地面が氷で隆起！